



高橋 健児 味方村長



谷 正 白根市長



佐藤 太加志 小須戸町長



金子 由征 月洞村長



高橋 裕 湯東村助役(村長代理)

新春ドリムサミット「市長村長、大いに語る」

広域行政の可能性を 共に考えていこう

一月十九日、(社)白根青年会議所(海津正男理事長)の新春名刺交換パーティーにおいて、新春ドリムサミット「市町村長、大いに語る」と題したパネルディスカッションが開かれました。
白根市はじめ小須戸町、中之口村、味方村、月洞村、湯東村の各首長が広域行政について語り合いました。その内容をご紹介します。

情報交換、協力体制を 確立していくことが大切

司会(海津) 竹内市長は、この広域のリーダーとして白根市は何ができるかと考えますか。

竹内 「白根市がリーダーとして」というお話ですが、現在の白根市の実力からすると、まだまだこれからかなと思っています。

現在、消防や衛生、警備など、行政の一部については、近隣市町村で広域運営が行われています。これらは行政範囲をきちんとしないと機軸として取り組めないものです。

今後、まちづくりや生活の利便性を広域的に求めるとき、そこには住民同士が「共通統一コンセプト」を持つことが大切でしょう。例えば農業問題など、共通の事柄に対して住民一体となった考え方がいろいろな場面で必要です。

新潟市と黒埼町の合併も近いようです。私たちの白根地域では、まず前段として、何らかの形で情報交換や協力体制、これらが確立されていくことが大切なこと

でしょう。
私自身、就任して日が浅く経験不足かもしれませんが、何が望まれているのかということ把握し、取り組んでいきたいと思っています。

白根市のリーダーシップに 期待したい

司会 他の町村では、どのように考えますか。
高橋 湯東村の広域行政を見ると、巻町を中心にその近隣市町村と取り組んでいます。消防やごみ処理などがそうです。また水道は中之口村と取り組んでいます。けれども村の東側の半分は経済圏を白根市に置いています。この地域では買い物などはほとんど白根市へ行きます。白根とは本当に関係の深い村なんです。私個人の生活でもそういう面は多くありますし、白根市を中心とした発展は大いに望みたいです。

金子 県央地域では燕市、三条市、加茂市と三つの市がほぼ同規模で並んでいます。それが意味では、十年以上前から広域行政の話が出ていながら、なかなか進まない要因とも受け取れないわけではあります。あくまで外側から見た感じですが。

私たちの地域では、何といっても白根市の力が抜けています。そういう面では、やはり白根市にリーダーシップを発揮してもらいたい。竹内市長は「就任して日が浅い」と言われましたが、経験年数に関係なく強い力を見せてもらいたいものです。

これからの時代、広域的な取り組みが



保倉 喜一郎 中之口村長



司会 海津 正男 白根青年会議所理事長

必要なことはいろいろあります。例えば高齢化社会に対応した福祉事業などはその一つ。広域の事業というものは、みんな知恵を出し合って取り組んでいきたいですね。
木村 味方村は白根市との交流が深い村です。風合戦では、実に三百年もの付き合いをしています。そのほかの面においても、白根市と一体となっているものは多いです。

特養ホーム、下水道などは広域的な取り組みが必要なもの。小さい村ではできないこともあります。白根市のリーダーシップに大いに期待したいところです。
ただ厳しいことを言えば、白根市はかつて赤字再建団体になったことがありました。そのような状態では回りの町村は安心してついていけないことになりかねません。

財政基盤の安定はお願いしておきたいものです。白根市が情報、イベントの発信基地となることを望みますし、村の中においても、どのような機能分担ができるのか話し合っていくべきでしょう。
保倉 中之口村は去年四十周年を迎えました。けれども、現在でも村の一部の生活圏、職業圏は、白根市や燕市にあります。



新春ドリムサミット市町村長大いに語る

状態なのです。

同じ目的、同じ悩みを持った市町村が力を寄せ合い、目標を達成していくことが広域行政です。新小須戸橋の早期完成には、ぜひ白根市の力添えをお願いしたいものです。

住民も行政も一体となって 広域を考えていこう

司会 「白根市にリーダーシップを」と

問題が東西線の出人口が狭いこと。これは交通渋滞を招き、経済や文化活動に悪影響を及ぼします。一昨年、小須戸橋が改修されましたが、まだ交通渋滞があります。県道白根・安田線の改良はぜひ必要なことですが、橋や道路を直すには、一つの町単位で取り組んでも非常に困難なことが多いのが現状なのです。

これから産業構造の変革などは広域でも取り組めることだと思います。例えば農業を生かした新産業などは、情報の発信やブランド開発などを白根市が中心となってやっていると分業ではないかと考えます。また後継者や人材育成の拠点ともなっていくかなければならないでしょう。広域行政には企画段階での綿密な擦り合わせが必要で、そして何と云っても周辺市町村が一体となった地域ビジョンというものが重要です。例えば道路網の整備でも、「この道路が開通することはいかにいうふうに地域に役立ち、発展につながるんだ」という統一した考え方が、それが広域圏で一つにならなければならぬと考えます。

行政だけではなく、当然、民間ベースでも大いに研究してもらいたいですし、良い方法をどんどん提案していただきたいですね。共に考えていくべきでしょう。「さあ、この地域をどうしよう」というとき、行政だけではできません。地域住民、行政が一体となって考え取り組んでいくことが大切です。それにより地域の発展はもっともつと確かなものになると思っています。私も頑張ります。

司会 ありがとうございます。広域行政の実現には、行政だけでなくそこに住む人が広域を考え、力を合わせていくことが大切ということでしょう。共に頑張りたいものです。